

藤間勘須和リサイタル

第一回

主催
須々めの會
後援
古典の日推進委員会
ジヤボニスム振興会
京都新聞

須々めの會

新内

うずめ [新作]

藤間 勘須和

清元

隅田川

藤間 勘祐悟

作品解説

井上 理砂子

料金 三千円 (学生・千円) 自由席
料金には消費税が含まれています

金剛能楽堂

京都市上京区烏丸通中立売上ル
(京都御苑・中立売御門前)

令和三年三月二十日(土・祝)
午後四時開演
午後三時半開場・午後六時終演予定

S U Z U M E n o K A I

11月11日古典の日 11月11日古典の日

須々めの會

すずめのくわい

題字・畠中咲華

〔新作〕
新内

うづめ

藤間 勘須和

振 作 作 作
構成 安藤 寿和子
曲 新内 志賀
滝本 ひろ子
藤間 勘祐悟

清元 隅田川

作品解説 井上 理砂子

(元京都新聞論説委員)

能の「隅田川」を源流に明治時代につくられた清元の名曲。作詞の条野採菊は、画家・鎌木清方の父にあたる人で、戯作者やジャーナリスト、実業家と様々な顔を持つ才人でした。都、北白川に住む女が、人買ひに攫われた我が子をたずねて東へ下り、隅田川のほとりで大念佛をする——、その謂れを聞くと、供養されているのは我が子、たずねたその日が命日であつた、という悲しいお話です。

物狂いとなりながらも、はるばる子をたずねゆく母の心、亡くなつてなお母を慕い、土の中からも母を呼ぶ幼な子の心が深く胸に沁みる作品です。



滝本 ひろ子



新内 志賀



藤間 勘祐悟



藤間 勘須和



井上 理砂子

料 金 / 3,000 円 (学生 1,000 円) 全席自由席

【チケットお申込み・お問合せ】

須々めの會 070-5505-9288 メール officeand@pop21.odn.ne.jp

金剛能楽堂 075-441-7222

アクセス・市営地下鉄烏丸線「今出川」駅下車、6番出口より南へ徒歩5分

駐車場はございませんので、京都御苑の一般有料駐車場をご利用ください。

新型コロナウイルス感染症予防対策のガイドラインに沿って開催するトライアル公演です。

ご来場の折にはお手数でございますが、マスクの着用、検温、消毒のご協力をお願い申しあげます。
なお、配席はソーシャルディスタンスを考慮したものとなります。